

神宮前だより

自分たちでつくる秋の行事

校長 手代木 英明

緊急事態宣言が明け、延期していた校外学習や行事を再開しました。十月十四日低学年生活科見学(代々木公園)、十五日〜十七日六年日光高原学園、十九日〜二十日五年河津自然体験教室、二十一日三年遠足(多摩動物公園)、そして、三十日はスポーツデイを開催しました。

どんぐりがたくさん拾えた代々木公園、美しい紅葉が始まった日光、豊かな水量の七滝と秋の温泉プール、大きな団体客がいらない動物園でゆったりとした見学など、神宮前小の子供たちは、例年



左上下:日光高原学園 右上:多摩動物公園 下:代々木公園

とは違った季節と環境の中で校外活動を実施することができました。

子供たちは、これまで我慢してきたことを自然の中で発散し、思いっきり活動しました。特に、高学年の宿泊学習では、リーダーを中心とした集団行動がとても良くできていました。部屋ごとの生活や行動班で励まし合いながら活動する姿に成長を感じました。

そして、スポーツデイ。神小の子供たちは、コロナ禍にあって「新しいことにチャレンジする」という気持ちが出ています。去年一・三・五年生だった子供たちが上級生となってリードする今年のスポーツデイはレベルアップしました。閉閉会式の態度や自分の言葉で力強く話した児童代表の言葉は素晴らしかったです。ダンスも上級生がリードしていました。高学年の陸上競技は、練習の成果が表れていて美しいフォームでした。

先週から朝礼での六年生の鼓笛隊の演奏も再開しました。来週から五年生も加わります。今後も、コロナ感染症対策を緩めずに教育活動を進めて参ります。

渋谷区で初めて行った

河津自然体験教室

三ツ石海岸の干潮時刻に合わせて日程を組んだので、絶好の磯遊びができました。

海の学校の DISCOVERY の先生に最初有毒のある生物の説明があり、捕まえた生物の解説



をしていただいたお陰で、安心して磯の活動ができました。

河津に着いて、峰温泉大噴湯公園では、町の方々に迎え

られ、温泉卵づくりと間欠泉見学をしました。



二日目は七滝ハイキングと、

温泉プールで泳ぎました。夏休みの宿泊の延期から、急遽計画した河津自然体験教室でしたが、河津町の方々、渋谷区教育委員会と渋谷サービス公社のバックアップで素晴らしい活動ができました。



十一月の生活指導

「力を合わせて活動しよう」

感染症の拡大が落ち着きを見せてきたことで、十月から宿泊行事、生活科見学、遠足などの行事を少しずつ再開しています。引き続き、子供たちはスポーツデイ、オータムコンサートに向けた学習に取り組みしていきます。たくさんの方の力を合わせて活動することの意義を学ぶことができるよう、指導していきます。

活動の中では、自分と違う考え方に触れることで、摩擦が起きたり葛藤が生まれたりすることがあります。でも、そのような経験は、一人一人が役割を果たすことや、力を合わせて活動することの大切さに気付くことができる貴重な機会です。一つ一つの行事を通して、子供達がお互いを思いやり、自分の力を思う存分発揮することで、自分やクラス・学年の集団が成長できたと実感できるようにしていきます。

十一月は「第二回ふれあい月間」です。アンケートを実施するほか、「思いやり」「友情」をテーマとした道徳授業を行うなどとして、いじめや不登校を未然に防ぐための取組を行います。

十一月より、児童の給食当番が復活します。感染症対策をしっかりと、安全に食事ができるように指導していきます。